



1階鑑賞室 定員50名先着順 無料 14:00～(13:30開場)

1月10日(金) 名作映画鑑賞会

14:00～16:18 「アンナ・カレーニナ

ヴロンスキーの物語」

1月17日(金) 金曜映画会

14:00～15:31 「歌舞伎をみる 今は昔 昔は今」

「狂言・野村万蔵 技とところ」

1月23日(木) 郷土に親しむ映画会

14:00～15:02 「文楽の魅力」

ふたば

「一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段」

お問い合わせ

埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

Tel.048-523-6291



埼玉県のマスコット
コバトン

時代を超えた悲恋を描く「アンナ・カレーニナ」や、日本の伝統芸能に関する映画を上映する♪

名作映画鑑賞会

1月10日（金）

14：00～

アンナ・カレーニナ ヴロンスキーの物語（カラー・138分・劇映画）



愛し愛されよ。たった一つの真実として

1904年、軍医であるセルゲイ・カレーニンのもとに一人の男が運ばれてきた。男の名はアレクセイ・ヴロンスキー大佐。彼こそはかつてセルゲイの母であるアンナと愛し合い、そして彼女を自死に追いやった人物だった。

母の死の真相を知るため激しく問いかけるセルゲイに対し、ヴロンスキーは静かに語りかける。

「人は記憶を作り変えるものだ。愛の真実は無数にある」

1872年のモスクワで出会い、恋に落ちた二人。時代の流れに翻弄されながらも、二人がたどり着いた結末とは……。

※この作品はDVDです。

金曜映画会

1月17日(金)

14:00~

「歌舞伎をみる 今は昔 昔は今」(カラー・41分・教養)



400年以上の歴史を持つ歌舞伎は、演じられるたびに工夫が凝らされ、見るものに驚きと感動をもたらしてきました。その面白さを感じてもらうための歌舞伎鑑賞ガイドです。

「狂言・野村万蔵 技とところ」(カラー・50分・教養)

近代狂言の完成者として名高い、七世野村万蔵。

日々精進を重ねる姿は、芸事の求道者としてふさわしい風格をたたえています。その知られざる葛藤や、孫に薫陶する姿などを通して、人間・野村万蔵の魅力に迫ります。

※上記2作品は16ミリ映画フィルムです。

郷土に親しむ映画会

1月23日(木)

14:00~

「文楽の魅力」(カラー・30分・教養)

文楽とは、語り・伴奏・人形遣いが一体となった芸能で人形浄瑠璃とも呼ばれます。日本を代表する文化として海外にも知られており、ユネスコの無形文化遺産にも認定されました。熟練の遣い手たちが人形に命を与える舞台裏をご覧ください。

※この作品は16ミリ映画フィルムです。



郷土に親しむ映画会

1月23日(木)

14:00~

「一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段」(カラー・32分・教養)

国立文楽劇場で公演された作品のなかから、今回は熊谷市に縁の深い、武将・熊谷直実の登場する作品をお送りします。

——源平合戦のさなか、熊谷次郎直実は、主君である源義経から、敵軍である平敦盛の命を助けよとの密命を受ける。やむなく身替りにしたてられたのは、実の息子である小次郎だった。

折しも直実の陣屋に、息子を心配する妻の相模と敦盛の母、藤の方が現れる。子を想う母たちの姿にためらいながらも、直実は武士として自身の下した決断を語るのであった——。

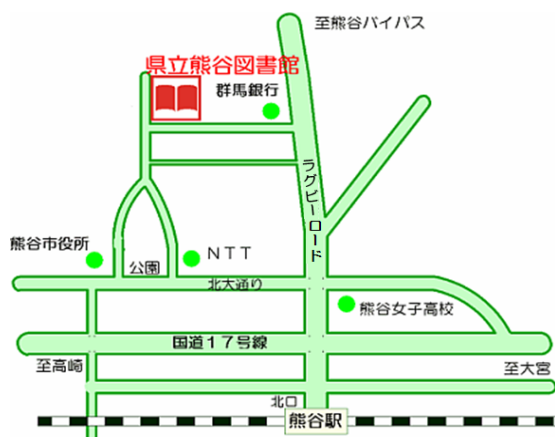
※この作品はDVDです。

* 2月の映画会 *

2月7日(金)	名作映画鑑賞会	14:00~	「東京物語」(モノクロ・136分)
2月14日(金)	金曜映画会		「吟選大落語名人会」(桂歌丸「城木屋」、桂米丸「ジョーズ」、六代目柳家小さん「真二つ」)(カラー・116分)
2月27日(木)	郷土に親しむ映画会		「埼玉の無形文化財」(カラー・20分) 「出牛浄瑠璃人形芝居をまもる人々」(カラー・15分) 「閨戸の式三番」(カラー・30分)

(上映する作品は変更となる場合があります。)

* 埼玉県立熊谷図書館アクセス地図 *



編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

TEL 048-523-6291

埼玉県立図書館WebサイトURL

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

2019.12月発行